



TITLE:

金星の1943年 (1943年の天文年鑑)

AUTHOR(S):

CITATION:

金星の1943年 (1943年の天文年鑑). 天界 1942, 23(259): 12-13

ISSUE DATE:

1942-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168536>

RIGHT:

金星の1943年

金星は此の年の初め、まだ可なり低く西の空に輝やいてゐるが、春の頃から漸く高くなる。之れと同時に、地球へ近づいて来るから、光輝は大きいし、望遠鏡で見ると、七八月頃には立派な三日月形が現はれて、面白い。一月中旬と八月末には水星と會合するが、相互の距離は遠い。

金星は今年中、常に觀測に好都合である。年初に遠日點を通過し、四月26日に近日點を通過する。それから八月の末まで續けさまに半年以上、西の空に君臨すると共に、地球への距離も減じ、同時に、光輝も増す。戦時であるため、これを敵の飛行機の襲來と誤認することなど、(前の大戦の時にも例があつた如く)世界の至る所に行はれるかも知れない。四月末には金星と土星とが會合し、五月末には同様に木星と會合する。この頃は牛座や双子座の天空は此等の輝かしい大遊星の來往で、特に賑はしく見えるだらう。望遠鏡を有つ人々も春の西空に珍らしい星體の眺めを満喫するだらうが、しかし金星の形は、半月形が六月末の頃に現はれ、それから八月中旬の頃までは三日月形で、大きさは漸次に増大する。八月1日が極大光輝となるから、この前後、肉眼で此の星を晝の空に見る人も多からう。

九月6日、金星は太陽と地球との間にやつて來て、内合するが、此の時には太陽の南 1° ばかりの所を逆行する。それから星は急に太陽の西側に移り、毎日、曉天を賑はすこととなる。十月頃、再び木土金の三大遊星が獅子座あたりを美しく飾る景觀は立派なものだらう。十月13日、金星は東天に於ける極大光輝となり、それ以後、翌1944年の春の頃まで永く曉の空を去らない。

1943年 金星の主要な現象

1月 4日12時： 遠日點を通過す
 27日 0時： 日心極南黃緯
 3月24日 7時： 昇交點を通過す
 4月26日19時： 近日點を通過す
 5月18日19時： 日心極北黃緯
 6月28日 9時： 極大離角(東へ 45°)
 7月13日20時： 降交點を通過す
 8月 1日 2時： 極大光輝
 13日18時： 赤經停留

8月17日 5時： 遠日點を通過す
 9月 6日 6時： 内合
 8日17時： 日心極南黃緯
 25日20時： 赤經停留
 10月13日10時： 極大光輝
 11月 4日 0時： 昇交點を通過す
 16日23時： 極大離角(西へ 47°)
 12月 7日17時： 近日點を通過す
 29日12時： 日心極北黃緯

1943年の金星の運行表

(毎日 9時)	赤 經	赤 緯	光 度	視直径	距 離	輝 面	太陽間隔
1月 1日	^h 19 ^m 30 ^s 12	-22° 57.9'	-3.4 ^m	10.1 ^{''}	^{單位} 1.668	98%	東 時間 分 0 52
11	20 23 30	-20 45.7	-3.4	10.1	1.659	98	1 06
21	21 14 49	-17 32.7	-3.4	10.3	1.637	97	1 17
2 1	22 08 46	-13 04.4	-3.4	10.5	1.608	96	1 24
11	22 55 49	- 8 23.4	-3.3	10.7	1.577	94	1 28
21	23 41 29	- 3 20.6	-3.3	10.9	1.543	93	1 35
3 1	0 17 25	+ 0 48.8	-3.4	11.1	1.512	92	1 45
11	1 02 14	+ 5 59.1	-3.4	11.4	1.470	90	1 51
21	1 47 30	+10 56.4	-3.4	11.8	1.423	88	1 57
4 1	2 38 31	+15 53.8	-3.4	12.3	1.366	85	2 04
11	3 26 27	+19 44.1	-3.4	12.8	1.310	83	2 13
21	4 15 52	+22 44.4	-3.5	13.4	1.249	80	2 24
5 1	5 06 28	+24 44.9	-3.5	14.1	1.184	76	2 35
11	5 57 29	+25 39.1	-3.6	15.0	1.115	73	2 46
21	6 47 47	+25 25.1	-3.6	16.1	1.042	69	2 57
6 1	7 41 00	+23 54.8	-3.7	17.5	0.959	65	3 07
11	8 26 23	+21 33.1	-3.8	19.1	0.880	60	3 13
21	9 08 07	+18 26.3	-3.8	21.0	0.800	55	3 14
7 1	9 45 41	+14 47.1	-3.9	23.4	0.719	50	3 13
11	10 18 33	+10 49.3	-4.0	26.4	0.638	44	3 06
21	10 45 42	+ 6 48.1	-4.1	30.1	0.558	38	2 53
8 1	11 07 11	+ 2 39.9	-4.2	35.4	0.475	30	2 31
11	11 16 24	- 0 24.1	-4.1	41.5	0.405	21	2 00
21	11 12 42	- 2 12.9	-4.0	48.7	0.346	12	1 15
9 1	10 53 48	- 2 02.1	-3.6	56.0	0.300	4	0 12
11	10 31 28	+ 0 03.0	-3.3	59.1	0.285	1	西 0 48
21	10 17 11	+ 2 43.9	-3.7	56.5	0.297	5	1 42
10 1	10 17 47	+ 4 40.8	-4.1	50.2	0.335	12	2 19
11	10 32 02	+ 5 21.8	-4.3	43.2	0.385	21	2 44
21	11 06 12	+ 4 46.4	-4.3	37.0	0.454	30	2 59
11 1	11 30 17	+ 2 52.2	-4.2	31.6	0.532	38	3 08
11	12 05 36	+ 0 15.3	-4.1	27.8	0.606	45	3 12
21	12 43 45	- 2 57.6	-4.0	24.7	0.681	50	3 13
12 1	13 24 10	- 6 32.0	-4.0	22.2	0.756	55	3 12
11	14 06 37	-10 13.0	-3.9	20.2	0.831	60	3 09
21	14 51 11	-13 46.4	-3.8	18.6	0.904	64	3 03
翌1 1	15 42 45	-17 15.2	-3.7	17.1	0.983	68	2 55

(注意：距離の單位は太陽視差 8.〃80 に相當する 149,500,000 軒)